

# 令和5年度 ひとり親家庭アンケート結果

## 概要

【調査対象】県内に在住するひとり親等

【調査方法】①市町役場窓口・ひとり親サポートセンター主催出張個別相談会  
②Web(静岡県ひとり親あんしんLINE)

【調査期間】令和5年8月1日(火)～8月31日(木)

【回答数】1,174(窓口等 356、Web 818)

【調査項目】物価高騰による影響、養育費の状況、こどもの居場所の利用 など

◇物価高騰による影響で困っているものの上位5つは、「食費」、「光熱水費」、  
「日用品」、「家賃」、「こどもの習い事」

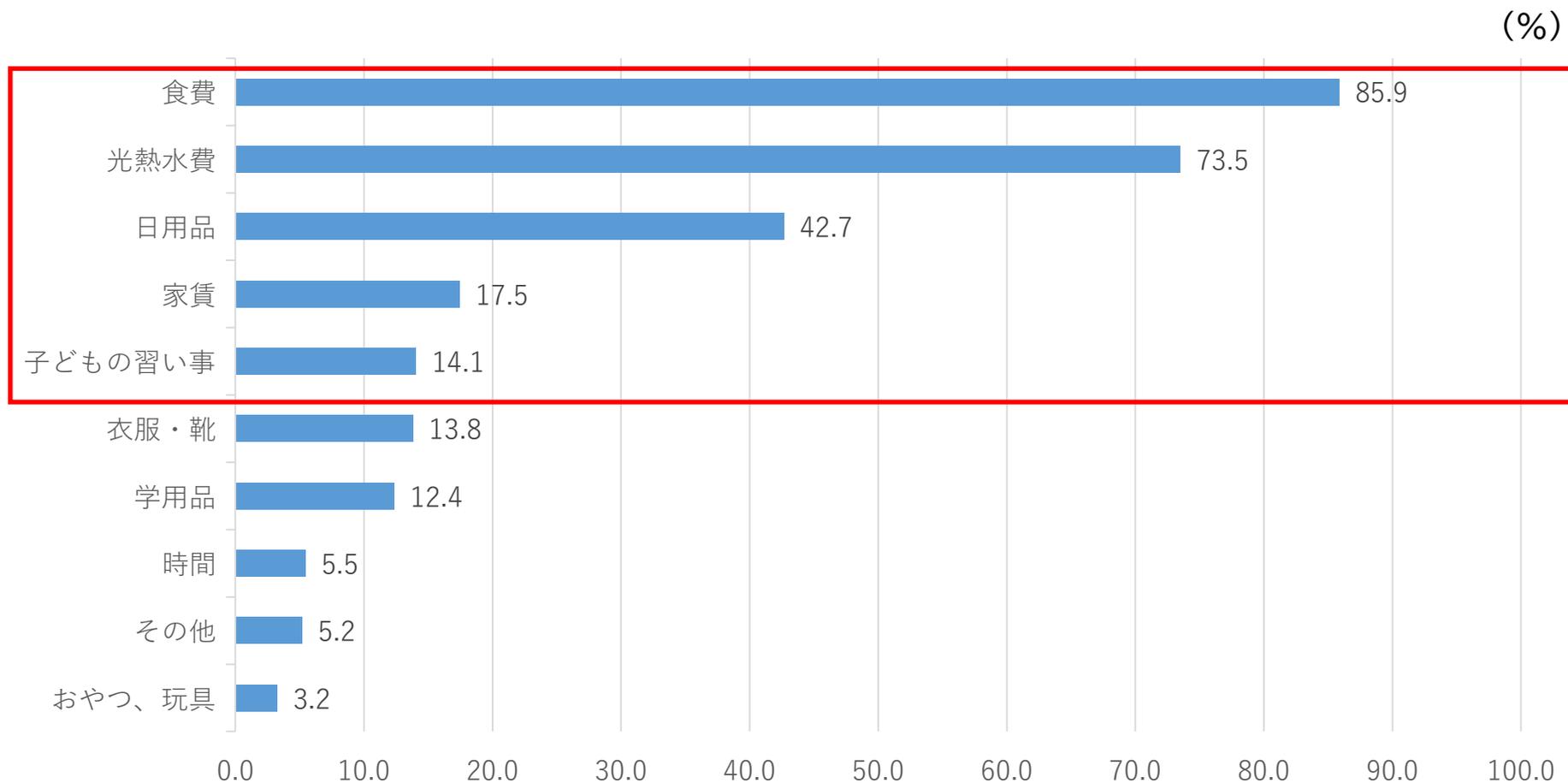
◇養育費の状況として、「取決めており、受給している」、「取決めていない、今後も取決  
めをする気はない」、「取り決めているが、一切支払われていない」の順で多い

◇こどもの居場所の利用状況は、半数以上が「利用したことはない」

◇悩み事の主な相談相手は、約半数が「親族」



# 物価高騰による影響で困っているもの

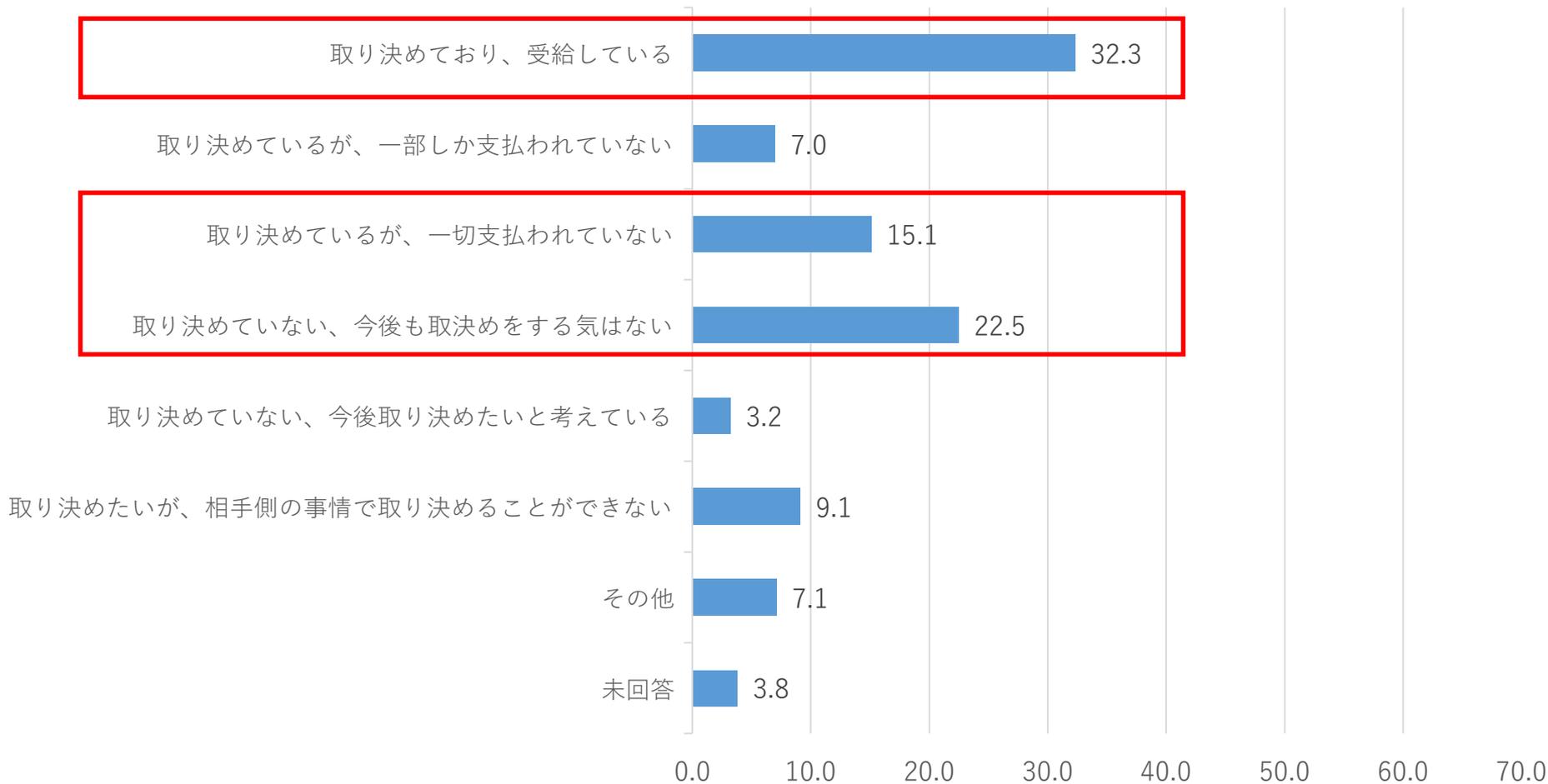


「その他」として回答のあったものは、ガソリン代や通学定期代、こどもの送迎費などの『交通費』に関するものや、『学費』などがあつた。

(n=1,174、複数回答)

# 養育費の状況

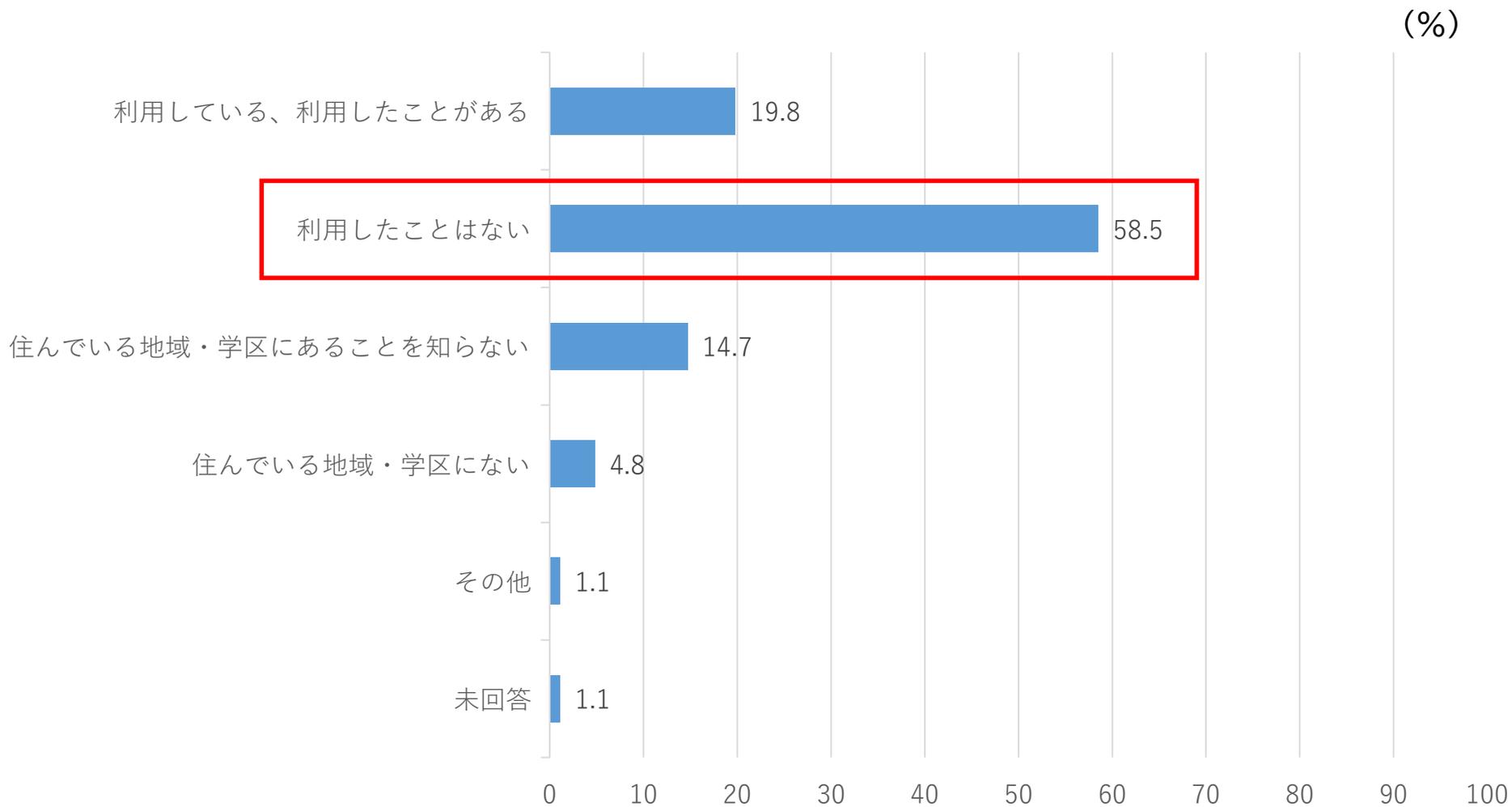
(%)



「その他」として回答のあったものは、『死別』、『未婚』、『認知されていない』、『相手が行方不明』、『相手に払う気がない』、『養育費は貰わないと取り決めた』などがあつた。

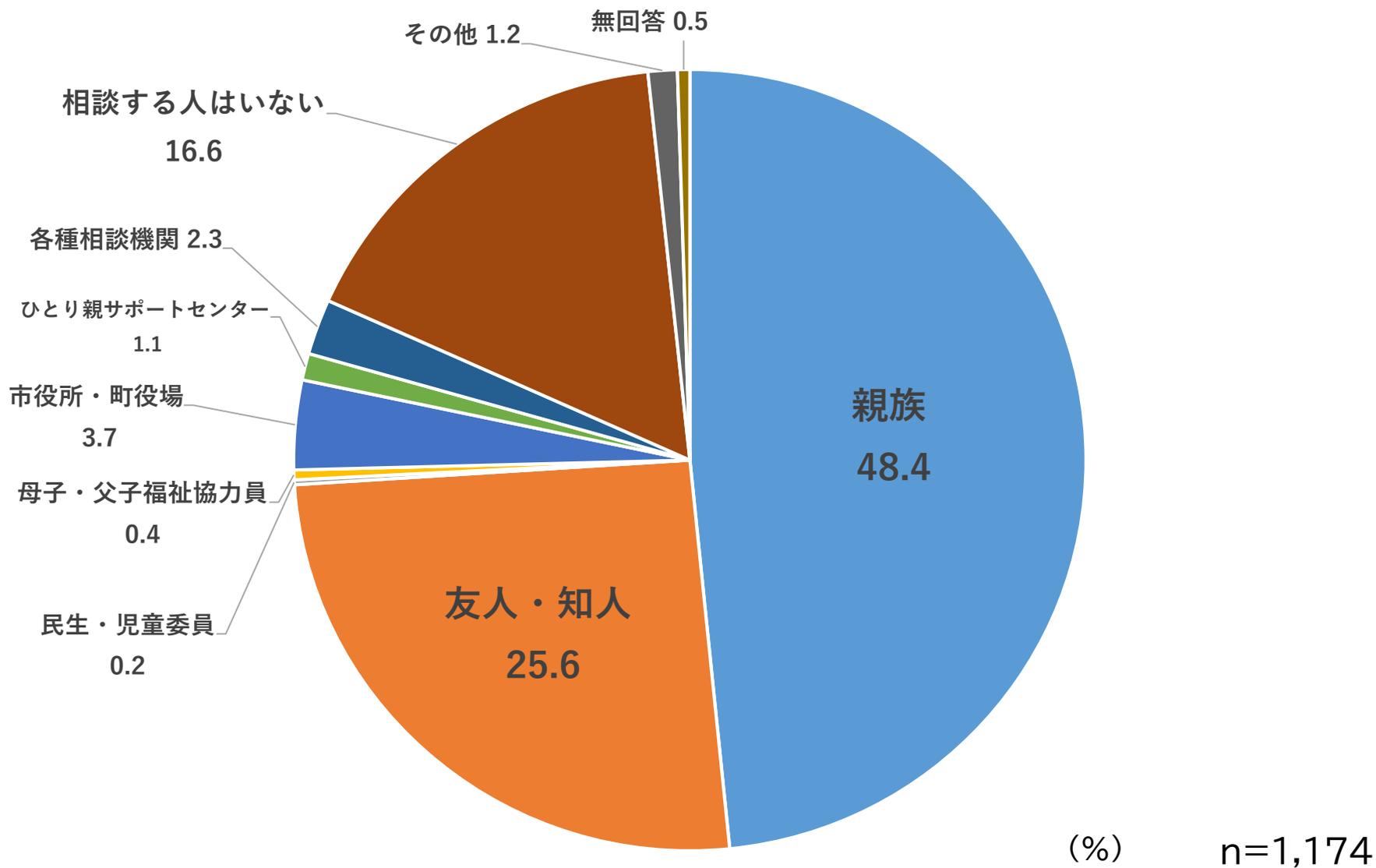
(n=1,174)

# こどもの居場所の利用状況



(n=1,174)

# ひとり親家庭の悩みごとの主な相談相手



# いただいたご意見より

## 家計・生活支援

- ・物価高騰が年々大きくて生活がどんどん苦しくなります。必要最低限の物事しかできないし、買うこともしてあげられなくて、こどもたちに申し訳ない。
- ・物価がどんどん上がって、生活していくのにギリギリです。こどもが成長するとともに出費も重なるので大変です。
- ・家賃補助の制度を作ってほしいです。物価高騰が激しすぎて、節約や仕事量を増やしても、貯蓄する余裕が一切ありません。
- ・死別の場合は相手から養育費が出るわけではないので、経済的にもう少し支援があれば助かります。
- ・頑張って給与を少し上げたら、11月から児童扶養手当が停止します。ふたり親より、人手も労力もお金も時間も少なく、物価も上がってるのに、お金が減って厳しいです。

# いただいたご意見より

## 児童扶養手当

- ・物価高騰もあり、児童扶養手当の所得制限の緩和をしてほしい。
- ・生活のためにこどもとの時間を犠牲にして働いているのに、それで扶養手当がもらえなくなるのでは、何のために働いているのかわからない。
- ・頑張るたびに手当等が減っていく現状が、罰を受けているような気分になって辛い。
- ・児童扶養手当の申請のために窓口に出向く必要があり、仕事や家のことなどがある中で負担となっているので、Webや郵送でも可能になると助かります。

## 教育費

- ・こどもの将来(進学)のための支援を充実させてほしい。
- ・息子が大学に行きたいと言っていますが、学費、交通費、一人暮らしの費用について、心配でたまりません。
- ・夢を諦めさせたくないですが高校、大学でかかる費用をどうするべきか困っています。
- ・学校用品(部活など)の援助があったらうれしい。
- ・学校に払うお金、塾代が大変。

# いただいたご意見より

## 医療費

- ・医療費の助成を受けられない世帯ということで、医療費もかかってしまい、家計が圧迫、精神面で体調を崩す、仕事の出勤時間や日にちが減る、収入が減る、と悪循環が起きてしまうことがあります。
- ・医療費助成の枠をもっと広げて助成してほしい。

## 相談窓口

- ・土日祝にも相談できる機関や場所を増やしてほしい。
- ・相談窓口自ら相談するのは言いにくく、勇気が要ります。子育てについて気軽に話せる窓口の情報をもっとあればいいと思います。
- ・相談したとしても最終的に、制度に則ることになるので、根本的な解決にならない。

## 子どもの居場所

- ・子ども食堂なり学習支援なり、静岡市などの大きな街中ばかりで、田舎は捨てられているように感じています。